

# 令和元年度の森林環境譲与税の使途について

土佐清水市

## 1 森林環境譲与税の活用の効果

- (1) 森林経営管理制度  
 ・専門員の雇用及び森林情報管理システムを導入し、森林経営管理制度事業の実施体制を構築することができた。  
 ・今後の意向調査を的確に実施するため、モデル地区を設定し、27.77ヘクタール・106筆に対し意向調査を実施することができた。
- (2) 担い手の確保・人材育成  
 ・林業就業者の確保を目的に、チェーンソーの取扱い研修を実施することができた。

## 2 森林環境譲与税の使途の内容

(1) 歳入 単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	11,746
計	11,746

(2) 歳出（使途内訳） 単位：千円

事業名	事業費		事業内容	事業実績
	総額	財源内訳		
		R1森林環境譲与税	他の財源	
森林情報管理システム導入事業	3,586	3,586	森林情報の整備等を行うための電子システムを導入（システムの導入費用、保守費用）	森林GISを活用し、所有者等の森林情報や、意向調査の結果を視覚的に確認できるようにした。
意向調査事業	36	36	モデル地区を設定し、森林所有者への意向調査を実施	調査対象 37名/27.77ha/106筆 うち回答回収 30名/23.68ha/86筆
森林経営管理制度事業	2,176	2,176	意向調査実施のため、森林情報の整備や調査対象地の情報作成等を実施（臨時的任用職員1名分の人件費）	意向調査実施のため森林所有者の特定を行った
森林の担い手事業	204	204	新規就業者の確保を目的にチェーンソー取扱い研修を実施	入門コース：1日間/参加者7名 スキルアップコース：2日間/参加者6名
森林環境整備促進基金積立金	5,744	5,744	令和2年度以降の森林整備（森林経営管理制度事業）に備えた積立て	積立金は令和2年度以降に実施する森林整備に活用する見込み
計	11,746	11,746		